

令和7年度第1回大阪府市地方独立行政法人
大阪産業技術研究所評価委員会
議事要旨

- 1 日 時 令和7年7月22日（火）午後3時～午後6時
- 2 場 所 地方独立行政法人大阪産業技術研究所 森之宮センター 3階 大講堂
- 3 出席委員 松岡委員（委員長）、呉委員、川崎委員、床波委員、中磯委員
- 4 議事内容

（1）委員長の選任について

- ・委員から松岡委員を推薦する意見が出され、全会一致で委員長に決定された。

（2）令和6事業年度の業務実績に関する自己評価及び評価結果（案）について

- ・資料1から4に基づき、令和6事業年度の業務実績に関する法人の自己評価及び知事の評価結果（案）について法人及び大阪府から説明が行われた後、小項目評価、大項目評価及び全体評価について審議が行われ、了解を得た。
- ・令和6事業年度の業務実績に関する評価（案）や、次年度以降の法人運営に関する主な意見は以下のとおり。

<主な意見>

【小項目1～5】

- ・企業支援研究実施件数について、数値目標には届いていないが、他の支援メニューを含めた企業支援の取組を充実させ、前年度を超える収入をあげており、企業支援機能を十分に発揮されたと評価できる。
- ・契約を伴う共同研究等の企業支援研究の件数は減っている一方で、オーダーメイド試験等の他の支援メニューの利用が増えている傾向にあることから、次期目標・計画の策定にあたっては、研究所の頑張りをもっと適切に評価できるよう、企業支援の充実を測る指標について検討されたい。

【小項目6～7】

- ・時流に沿った研修を企画・提供し、人材育成延べ人数を大幅に増やし、数値目標を大幅に上回った実績を上げた点は高く評価できる。
- ・企業の人材不足が深刻な問題となっている。引き続き、オーダーメイド研修、レディメイド研修等の取組を通じ、企業の人材育成に貢献していただきたい。

【小項目8】

- ・外部連携の推進は、研究所としての強みの明確化にもつながる。オープンイノベーションの取組を活発にされている点は評価できる。
- ・幅広く活動を展開されている印象だが、今後、より戦略的に活動を展開していくことで、関西の企業への訴求力を高められたい。

【小項目9～11】

- ・情報システムについて、生成AI等を活用すると効率化に繋がるが、一方、セキュリティ面でリスクが懸念される。次期計画に向けて、どのように管理していくか検討

されたい。

- 研究員の人事評価について、外部での表彰を評価に結び付けるなどインセンティブを与えるなど、職員のモチベーション向上や人材の確保に繋がる取組を検討されたい。

【小項目12～16】

- 企業や社会のニーズが変わる中、的確に捉え対応し、収入に結び付けている点は評価できる。

(2) その他

特になし

以上